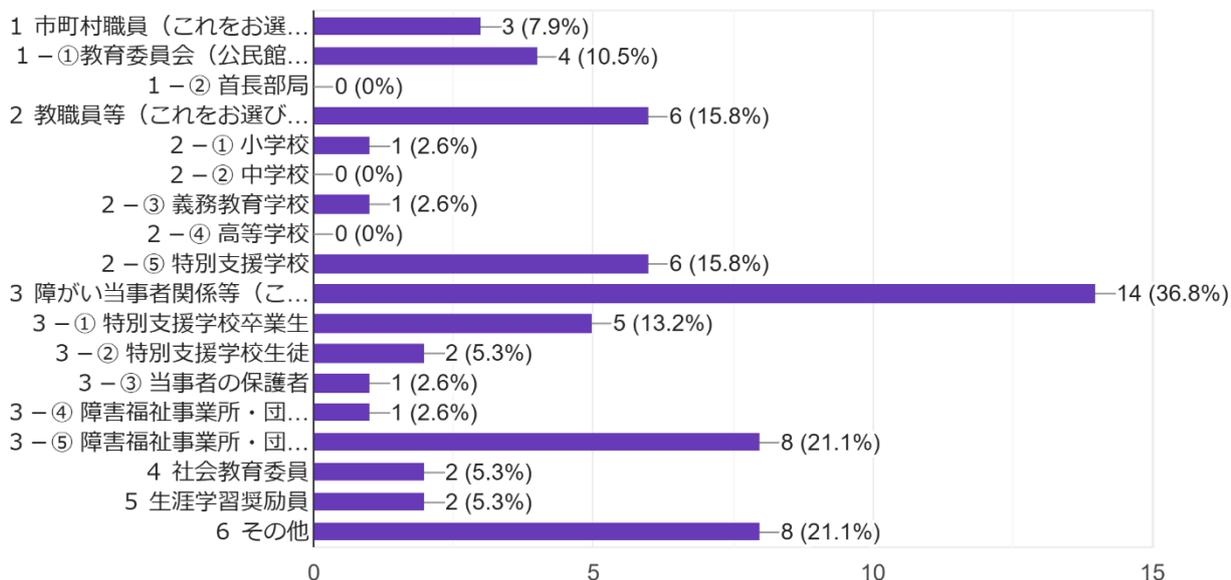


## アンケート集計結果（回答数：38【令和7年1月15日現在】）

ご自身について、当てはまる項目をお選びください。

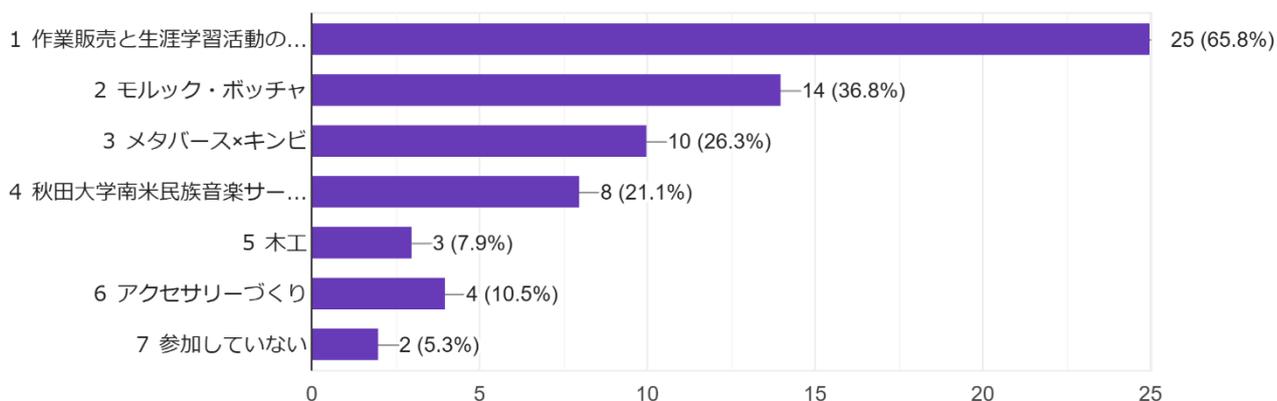
38件の回答



### 【その他】

- 社会教育施設職員 係長
- チェックなし
- 障がい者サポートセンターボランティア
- 聖霊女子短期大学生活文化科生活こども専攻専任講師
- 岩手県教育事務所
- 秋田県障害者スポーツ協会
- 青森県総合社会教育センター

ワークショップについてお聞きします。参加・参観したワークショップをすべてお選びください。  
38件の回答



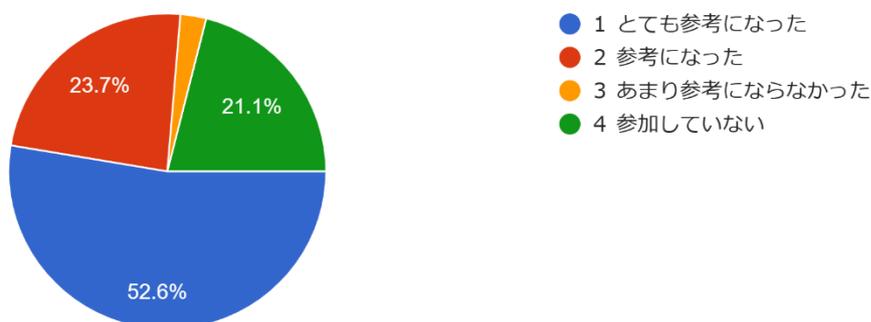
ワークショップの感想等をお書きください。

26件の回答

- ・話をして交流しながらものづくりができて良かった。
- ・久しぶりに、利用者を連れての販売で意欲ややりがいを感じた参加となった。活動の説明も、スタッフの伝達として、良き育成の場面であった。このような機会を戴き、感謝してます。
- ・人に合わせて、様々な工夫をしているのが素晴らしかった。真似てやれそうなことを親切に教えていただき大変ありがたかった。
- ・一つ一つ丁寧に教えてくださり、とても楽しく、作品を作れました！
- ・ポッチャ、モルックが楽しかった。
- ・初めてやったモルックは難しかったけど、楽しかった。ポッチャは逆転で勝ててうれしかった。
- ・福祉事業所の方が実施する「生涯学習」の取組（日中一時事業や委託事業）に豊かな学びへの思いが強く感じられた。
- ・様々な事業所の方や職員の方とつながることができてよかったです。
- ・ニュースポーツを体験して、一緒に楽しめることがいいなあと思いました。
- ・南米音楽の演奏に感激しました。
- ・手軽にできて、楽しかったです。
- ・同時間開催だと、回れるものが少ないと思いました。
- ・今回は都合により、ワークショップに参加出来ず申し訳ありませんでした。以前に北秋田会場でモルック体験をしました。メタバ・キンビも凄かったです！
- ・事業所等の交流があり相互の理解が深まったと感じた。
- ・途中参加で全ての活動を伺うことはできませんでしたが、取り組んでいる団体同士の交流時間としての機能もあると感じました。他のコンファレンスでは、見られない企画だったと思います。
- ・生涯学習センターに常設のポッチャ会場が設置されていたこと。しかも無償貸与で各種団体と協働している点、そこに至るまでの過程を知りたい。
- ・気軽に参加し、楽しむことができよかった。
- ・作業販売の方と直接お話しする機会があり、とても参考になりました。

- ・県内での様々な取組について知ることができた。事業についても意見をもらうことができて改善のヒントになった。
- ・複数の体験ができ、お得感がありました。
- ・今回は残念ながら参加できませんでしたが、子どもとモルック・ポッチャ、音楽交流に参加してみたかったです。
- ・ワークショップ、全てを見て回らせていただきました。作業販売、直接利用者とお話出来て、良かったです。できれば、入口ホールなど、もっと目立つところで実施してもらえれば、尚良かったかなと思いました。
- ・秋田犬のキーホルダーを作りました
- ・1～4 まで参観しました。設定が1つしか選択できませんでした。どのワークショップも楽しめました。
- ・分かりやすく楽しかった。

開会行事（事業説明等）についてお聞きします。当てはまる項目をお選びください。  
38 件の回答



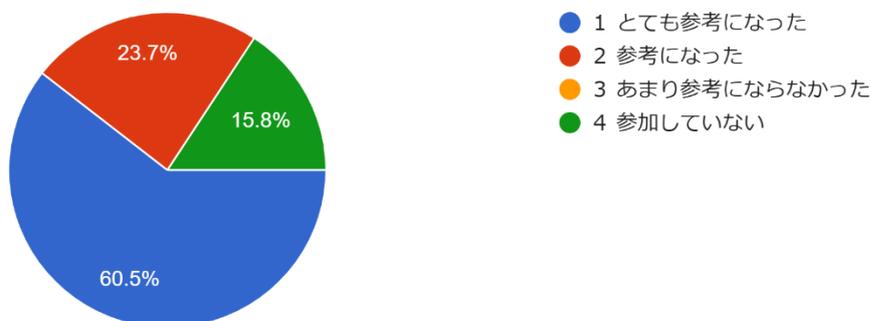
上記（開会行事「事業説明等」についての回答）を選んだ理由や感想等がありましたらお書きください。14 件の回答

- ・社会における障害者の現状を知ることができ、国や県の考え方を学ぶことができたから。
- ・必須項目のため選択。本人コメント→「むずかしかったです。」
- ・近隣事業所がどのような事を事業としてやっているか、多少分かっていたが離れた地域の事業所はどんな事を行っているか知る事が出来て、利用者もスタッフも良い刺激となっていた。
- ・内容は難しかったが、今度の何かに参考にしたい。
- ・「県内8障害保健福祉圏域で障害者を対象とした生涯学習講座やイベントの定着を図る」は少しハードルが高いと感じますが、関係省庁との連携の促進が図られれば市町村も進めやすいと思った。
- ・県、市町村の取組の推移がとてもよく分かった。
- ・障害者の生涯学習のはじまりや現状を深く知ることができ、また知識が広まった。

- 世の中の流れが分かりました。
- 星川様と三浦様の説明はとても分かりやすかったです。特に、（私は秋田県外出身ですが、）秋田県における障害者の生涯学習の広がりや地図を用いて視覚化されていたのがよかったです。
- 文部科学省、秋田県の取組（ネットワークづくり、県の地図を使っての進捗状況説明）がわかりやすかった。
- 障害を持つ人のすごす場、仲間をの場を広げていけるように、工夫をすすめたいと思う。
- 障がい者の生涯学習の現状について知ることができた。特に、取組だけでなく、「課題」など、今後の展望についても紹介されていた点が参考になった。
- 障害のある人たちとの共生を考える機会でした。ありがとうございました。
- これまでの経緯がよく理解できました。秋田県での取り組みを知る機会になりました。

講演についてお聞きします。当てはまる項目をお選びください。

38件の回答



上記（講演についての回答）を選んだ理由や感想等がありましたらお書きください。

22件の回答

- 井口先生の、あえてルールをつくらないという考え方にとても共感できた。ルールが細かいと支援する側、される側に二分化されてしまうことも理解できた。自分の職場に置き換えて考えていきたい。
- 悩み事が、同じである事。解決の糸口も同じであった事。この事業は継続する難しさや悩みが同じであるなど、気持ちが、少し楽になりました。今後、どの様に切り開けるか…答えは一つで無い事。前向きに考えて行こうと感じました。
- なぜ必要なのか。非常にわかりやすくお話しいただいた。実際に行われていることも素晴らしく、なかなか難しいことではあるが、勇気をいただいたことに感謝したい。
- 障害者の就職定着はまだまだ課題があるんだと感じた。
- 国立市公民館の先進的な取り組みは、現在にも継続されていることに感銘しました。特に「コーヒーハウス」は全国各所で行われております。
- サッカー部を担当していて、「卒業後もサッカーをしたい」とよく聞く。学校と福祉の「はざま」に共感した。地域につなげたいと思うが…。
- 国立市の取り組み、特にしょうがいしゃ青年教室が参考となりました。

- 地元でも共生社会に向けて、何かできることはないかな…と前向きな考えになりました。ありがとうございました。
- 問題の本質、「多様性」についての学びになりました。井口氏の話は聞きやすく分かりやすかった。
- つながる大切さが改めて分かりました。
- 共生、ともに参加、みんな参加、というキーワードが今後、障害者の生涯学習に大切になってくると感じた。
- 近所の公民館の取組を知りたいと思った。
- 特に国立市での取組みが参考になりましたし、リカバリーの学校についてもう少し詳しく知りたいと思いました。
- 井口様の講演以前から、国立市公民館やコーヒーハウスの名前や取組みは伺っていましたが、講演を聞いて一層理解を深めることができました。
- 大変わかりやすいお話でした。今できることを一歩進めていくこと、社会（地域）ネットワークを強くし、関係者だけでなく、一般市民として気楽に関われる気運や体制づくりの重要性を改めて感じました。
- 誰一人置きざりにしない。「踏み出す一歩」の道筋が見えて来たお話であった。
- コーヒーハウスのお話を聞いて、なるほどそういう取組みもあるのかと思いました。障害者に限らず、いろいろな方と繋がる方法だなあと参考になりました。0から1は 生み出すのが大変そうというイメージだけれども9から10は既存のものを少しグレードアップさせるという捉え方で、取組みやすいというのが「確かに！」と気付かされました。障害のある方々は、支援されたい気持ちもあるけれども、「一緒に参加したい」「みんなと同じことをしてみたい」という思いをもっていることをとても強く感じます。段差を少しずつフラットにしながら、共に学び共に生きるとはどういうことかを今後も考えていきたいと思います。
- 「誰一人置き去りにしない」という、“言うは易く行うは難し”と感ぜられることを丁寧に取り組まれている実践を知ることができ、心が温かくなった。「まずは『9から10』」という言葉も、意識していくべき大切な視点だと感じた。
- 「『障害』は社会の側の問題」とありました。深く理解するために考えてみたいと思います。
- 国立市公民館の大事にしている考え方、取組みを知ることによって、障害者の学びを拡げていく必要があると強く感じました。

その他、コンファレンス全体についてのご意見・ご感想などがありましたらお書きください。

## 20 件の回答

- 当事者の声が聞けたり、当事者の家族と交流できたりする機会があると更に学びが深まると思いますし、是非参加したいです。
- 障害者に特化したイベントではなく、健常者のイベントに支障なく参加できるような取組みが理想だと思います。そのために現在の活動の重要性を学ぶことができました。
- 次回はぜひ、「リカバリーの学校@くにたち」と共生ネットワークについてお話を聞きたいです。
- 手話通訳の方、長時間ご苦労様でした。
- 福祉サービス事業所の参加がもっとあるといいと思いました。

- 本校の生徒で、一般就労をしている生徒は自分たちで余暇を過ごして楽しんでいるケースが多いです。むしろ、B型利用や生活介護の利用の方やその保護者が集まる場のニーズが多い（同窓会のこといで聞く限りですが）。B型、生活介護の方へどれだけサポートできるかもカギになるかと思います。
- 部局や担当者が変わると今までの取り組みが、いとも簡単に消えたりと努力が報われないことも多いのですが、民間（企業）との連携も大事ですが、職員間の連携強化も重要だと改めて思いました。2030年まであと5年！緊急な課題だと痛感しました。
- ハイブリット形式での開催は、開催側としては様々ご苦労もあったと思いますがメリットが多かったのではと思いました。積雪が無く安堵しました。
- 1) 他のコンファレンスに参加して（事務局として運営も経験した立場から）、①当事者の方が登壇する、②実践をしている団体の方を数名登壇していただいて、トークセッション（シンポジウム）を行い、実際に生涯学習活動に取り組んでいる方がどのようなことに意義や課題を感じているかを共有する、このような内容を取り入れてもよいかと思いました。2) 「オーダーメイド型派遣事業」は全国で希有な取り組みだと思っています。実態やどのような熟議が行われているか関心を持ちました。とても有意義な時間でした。ありがとうございました！
- 生涯学習センター、社会教育施設の方が丁寧に参加者の実態に合わせて接していた。この姿こそ、「共生社会」の実現を具現化したかたちだと感じました。非常に学びの多いコンファレンスでした。
- 師走のお忙しい中、会の充実のために工夫されていて感服いたしました。貴重な学びの機会を作ってください、ありがとうございました。
- 大変勉強になりました。ありがとうございました。
- 滅多にこういう場所に来られないので、いい経験になりました。色んな交流があり、楽しかった。
- 体験したことのないものばかりで新鮮でした。楽しかったです！